

緊急消防援助隊受援時における活動拠点に関する協定を締結

小山市消防本部

小山市消防本部は、令和8年1月22日（木）、日東工業株式会社栃木野木工場を活動拠点とする内容の協定を、日東工業株式会社（本社所在地：愛知県長久手市）と締結しました。

本協定は、管轄内外において大規模災害が発生した場合に、緊急消防援助隊受援時の活動拠点として、当市が消防事務の委託を受けている野木町に所在する同社の栃木野木工場の敷地を提供いただくことを目的としたものです。

本協定の締結による災害対応力の強化により、迅速かつ的確な消防活動の実施につながります。



国宝松本城消防総合訓練を実施

松本広域消防局

松本広域消防局は、令和8年1月26日、文化財防火デー行事の一環として、国宝松本城天守において消防総合訓練を実施しました。乾小天守からの出火を想定し、強風下で延焼が拡大する状況に対応するため、自衛消防隊による初期消火、多言語を用いた避難誘導、はしご車による救出訓練を実施しました。訓練の最後には一斉放水を行い、関係機関の連携体制と対応力を確認するとともに、国宝松本城を次世代へ確実に継承していく決意を新たにしました。



消防通信 望楼 ぼうろう

デイトム救急隊の救急車（A12）が更新整備されました

八尾市消防本部

令和7年12月23日（火）八尾市消防本部デイトム救急隊の救急車（A12）が更新整備されました。今回は複業人材（プロダクトデザイナー水野昌彦さん）のお力をお借りし、10年以上続いたデザインを一新して、効果的に救急車の適正利用を広報しつつ、市民の意識改革を図るため、ただ目立つだけのデザインではなく、市民の行動につながる伝わり方を意識したラッピングデザインになっています。

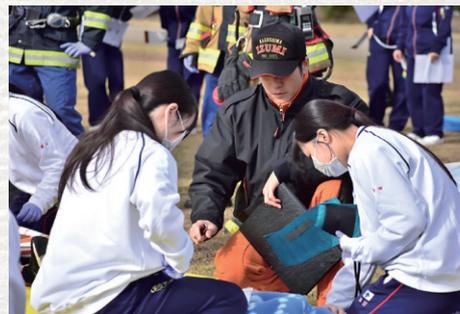
今後も、救急安心センター#7119の普及啓発を図り、救急車の適正利用の促進に努めてまいります。



未来の医療を担う学生と合同訓練を実施

出水市消防本部

令和7年12月15日、市内にある高等学校の看護学生と合同で集団災害事故対応訓練を実施しました。多数傷病者の発生を想定した実践的な訓練として、看護学生には救急救命士が指導に当たり、トリアージ等の役割を担いました。現場に即した環境下で災害医療への理解を深めるとともに、将来の医療・救急を支えていく者同士が協働する可能性を見据え、非常に有意義な機会となりました。今後も関係機関などとの連携を意識した合同訓練を継続して実施していきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】